

会派代表質問

自由民主の会

北田 宏彦 議員



「本市の治水・浸水対策」について

問 大網駅周辺の浸水対策について

金谷川、小中川河川改修工事の進捗と今後の進め方について伺いたい。

永田駅周辺の浸水対策について

赤目川河川改修工事の進捗状況と今後の進め方について伺いたい。

答 金谷川は、東金線までの整備要件が整い、護岸工事を実施している。

小中川は、県道千葉大網線方面に向け護岸工事を早急に進めていく。

赤目川は、浸水被害が頻発する沿線地域の治水安全度を高めるため計画的に事業を進めていく。

一刻も早い各河川改修の竣工を期待する。

問 小中川堤防の洗掘箇所修復工事、堤防（長国地先）の嵩上げ工事、大網駅周辺の排水路掘削工事の進捗状況について伺いたい。

答 今関橋上流右岸及び北吉田豊福橋上流右岸の復旧工事、富田橋下流右岸の復旧工事が実施された。

長国地先、嵩上げ工事に向け準備を進めている。

排水路掘削及び浚渫は、完了した。

千葉県に早期の復旧を強く求めて頂きたい。

問 千葉市側からの雨水流入について、どの程度把握しているのか。

また、雨水の流入抑制について協議しているか伺いたい。

答 南白亀川水系流域図により把握している。

外房線法面の雨水対応について、JR及び千葉市と協議を行っている。

河川改修だけでなく調整池など総合的な治水対策を検討頂きたい。

問 先の定例会で「政党機関紙の勧誘行為の実態調査を求める陳情」が採択され、執行部が実態調査した結果を先日、報告頂いたが、改めて勧

誘状況などについて伺いたい。

答 「職場において市議会議員による政党機関紙の購読勧誘を受けたことがある」と回答した25名のうち15名から、「政党機関紙の購読勧誘について、心理的圧力を感じた」との回答があった。

問 執行部はいつ頃から、このことを把握していたのか。

答 過去から実態は把握していたが、勧誘に伴う職員への心理的負担等の状況は、調査により把握した。

労働管理者、庁舎管理者は適正に職務を遂行しているのか疑問だ。

議員の優位な立場で職員に面談で勧誘することは、やめさせるべき。

心理的強制に該当し、パワハラと受取られても仕方のないこと。

問 執行部は、労働管理上どのような捉えているのか伺いたい。

答 調査結果を踏まえた市議会として対応を検討いただくよう、市長から市議会議長に申入れを行った。

勧誘行為等をこれまで容認していたが、今後は適切に対応していく。

不当な勧誘により購読契約している職員が自由意思を持って購読契約を解除できるよう、はじめをつけてほしい。

労働管理、庁舎管理を適正に行い、職員が気持ちよく働ける労働環境づくりに努めて頂きたい。

問 指定管理者を選定する際、より効果的に施設の目的が達成できるように、民間事業者が有するノウハウを生かした提案を行い、選定委員会により審査、選定されている。

施設の運営状況をどう把握をしているか伺いたい。

答 事業計画、事業報告書の提出を求め、業務の執行状況や懸案事項を

定例会議で確認している。

問 導入施設への指導監督はどのように行っているか伺いたい。

答 必要に応じ改善指示や指導等をして、今後も活発な意見交換を行い市民サービス向上に繋げたい。

問 地域計画策定の進捗状況について伺いたい。

答 年度内の地域計画策定に向け、地区ごとの説明会の後、農業委員会や農業関係機関への意見聴取など、手続を進めていく。

問 地域計画に位置づける農地は、どのような基準か伺いたい。

答 農業振興地域内の農用地を前提とし、市総合計画における土地利用の基本方針や、他計画との整合性を考慮し関係機関と調整を図る。

都市計画法の地区計画などで定め

た区域、今後、宅地利用が見込まれる区域などは地域計画から除外しておくべき。

優良農地として守るべき区域、外すべき区域、地域の実情に即した区分を求める。

そのほか○リサイクルの推進とごみの減量化について

○大網白里アリーナの駐車場整備について質問しました。

関連質問

田辺 正弘 議員



問 ごみ処理に必要な経費について、清掃組合で計画が進んでいる環境クリーンセンターの新施設建設や、ごみの収集コストの増加などに伴って、市にとって大きな負担となっていることは間違いありません。

また、これらの経費は、現在の社会情勢に鑑みても、物価高や人件費の高騰に伴って、今後ますます増加していくものと懸念されるところです。

執行部におかれては、経費削減に努められているものとは推察いたしますが、ごみ処理経費削減は、市の努力だけでは実現されません。

我々市

民を含めた全体でのリサイクルの推進と、ごみの減量化が必要です。

また、市民一人ひとりの、ごみ減量化の取り組みは、ごみ処理経費の削減だけではなく、ごみ処理に係るエネルギーが減ることによって地球温暖化の防止にも寄与する大変重要な課題であります。

そこで伺います。コンポストに対する補助金と対象となる処理機の種類を教えてください。

答 補助金につきましては、購入費の三分の一とし、一基あたりの補助金の上限額は本年六月から二万円を四万円に引き上げ交付しております。

対象としている処理機の種類は、土中の微生物などを用いた自然式のコンポスト容器と、EM菌を用いた発酵肥料化容器、機械処理機の三種となります。

また、剪定枝破砕機も対象としております。

また、処理機等を活用することにより、清掃組合への搬入重量で按分される負担金が減額されることとなります。

問 大網白里アリーナの駐車場整備について、災害などの有事においては、避難場所として指定され、重要な拠点となっています。

また、先日の産業文化祭等のイベントにおいても、来場者（市民）に対して不便を強いたことと思います。

答 大網白里アリーナ敷地内の駐車場だけでは足りない場合には、市営野球場等の近隣施設の駐車場を主催者側で確保していただくよう事前に協議するなど、近隣の駐車場も含めると充足しているものと考えております。

大網白里アリーナ駐車場の拡張につきましては、様々な場面において有効であると思われますが、拡張可能な候補用地としては、大網白里アリーナ東側及び北側の農地が想定されますが、当該農地は「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、農用地であり、優良農地となりますことから、駐車場の拡張については困難であると考えております。

各委員会が所掌する事務事業に係る調査・研究のため、総務常任委員会、文教福祉常任委員会及び産業建設常任委員会による市議会三常任委員会合同行政視察を行いました。

行政視察レポート

10/16 佐賀県武雄市 ○武雄市図書館の取り組みについて

武雄市図書館・歴史資料館は、市民の誰もが利用しやすく、利用したくなる”市民の生活をより豊かにする図書館”を作る構想である「新・図書館構想」のもと、指定管理者が運営する初めての図書館として平成25年4月1日にリニューアルオープンした。

指定管理者の持つコンセプトやノウハウを生かしたこれまでにない図書館を実現したものとなっている。

館内には、書籍販売や音楽・映像レンタルを行う新しいスタイルの実現のため、カフェが来店されている。



10/17 福岡県糸島市 ○空家対策について

人口・世帯数の減少と既存住宅・建築物の老朽化に伴い、使用されていない住宅・建築物が年々増加し、平成30年住宅・土地統計調査において糸島市では4,370軒の空家が確認され、今後も増加することが想定されていた。



そのため、空家等が放置され管理不全な状態となることを防止し、良好な生活環境の確保及び市民生活の安全を図ることを目的として、平成24年4月に「糸島市空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、その後、平成27年5月の「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行を受け、平成28年に「糸島市空家等対策計画」を策定し、令和4年に改訂を行った。

計画では、空家等の調査による実態の把握、空家等の適切な管理の促進、空家等及び跡地の活用の促進を具体的な取り組みとしている。

10/17 福岡県糟屋郡粕屋町 ○住民窓口におけるDXの取り組みについて

粕屋町ではAIやIoTといったデジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、事業効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげるための事業を推進・成功させることによりスマートシティの実現を目的としている。

主な取り組みとして、チャットボットを搭載した多言語インフォメーション端末による施設案内、電子入札・契約システムの導入、コンビニ交付対応行政キオスク端末の導入、公共施設予約システムのサービス拡充、テレワークシステム導入（BCP対策）、スマホ相談窓口の開設、キャッシュレス・ペーパーレス化推進、電子納税システムの税目拡大などを実施している。

